



## 復職支援実務研修報告

鈴木育子さん・木下麻子さん

会員ライフサポート部  
活動報告 第57報  
職場環境を考える

2016年度は上半期で復職支援実務研修に2名の参加がありました。今回はその方々から、同じような立場の人の役に立つならと、研修報告をニュースに掲載させていただきます。働きたいけど何か不安という方にこの研修の存在を知っていただき、復帰できる人が増えて欲しいです。また、このような充実した研修のできる施設があるというのは、本当に心強いことです。研修施設の皆様ありがとうございます。

### 鈴木育子さんからの報告

#### ■参加動機

平成元年にPTになり、病院勤務は通算10年、PTOTST介護福祉士との地域リハの株式会社で4年、NPO法人の立ち上げ期間中に個人事業主として介護予防教室などに1年くらい、合計15年くらいPTとして仕事した後、北海道から静岡に転居して離職。以降、静岡県士会で自宅会員から休会、横浜に転居し、昨年神奈川県士会に復会という経過で、気づけばPTから離れて12年くらいになってしまいました。今春下の子が小学校に入学するにあたり、今が復職できる最初で最後のチャンスなのではないかと思いましたが、右も左もわからない状況ではまるで雲をつかむような話で、想像の中で不安だけが膨らみ一歩も踏み出せませんでした。専業主婦として子育てに浸かって、昨年復会するまでは研修や学会への参加もできずPTの仕事にも神奈川県のリハにも全く触れない12年でしたし、知人もなく土地勘もありません。とにかく何か手がかりを、と研修や講習会に参加するうちに、この復職支援実務研修を知りました。募集も、まさに自分の抱えていた不安を言い当てたお誘いでした。体験談も読ませていただき、とても心強く感じました。時間をかけても復職への道を探したいと思いました。

#### ■研修まで

どこにどんな仕事のできる場所があるのか、自分でも役に立てる仕事はどんな分野なのか、自分の知識や経験は現実とはどれほど差ができてしまっているものか、そもそもこの年齢で働く機会をいただけるのか、また、我が家はどんな条件ならば復職できるのか…、まったくわからないままで、復職への熱意だけを述べる相談のメールを送ってみました。担当して下さった寺尾先生はさぞかし頭を抱えられたことでしょう。けれども、本当に親身になって寄り添っていただき、何度も丁寧なご連絡をいただく中で、最適な研修先を三施設もご紹介いただきました。いずれも聞けば聞くほど魅力的に感じましたが、我が家は実家から遠くバックアップ体制がないということもあって、近隣の二施設で午前中のみ、と希望させていただきました。回復期の朝倉病院さんと、生活期の老健コスモスさんです。研修までの間の心配事は次の二点に集約できます。①事前準備：わたくしの学生時代は実習の指導がとても厳しく、不出来な学生には灰皿やスリッパが飛ぶとか飛ばないとか…当時は知識を整理したり文献を探したりと事前準備にずいぶん長い時間を費やしたことを思い出しま

したが、この度は何をどのように準備したらよいかわかりませんでした。当時の教科書は古ばけて参考となるのかどうかもわかりません。焦りと緊張感ばかりがつのりましたが、研修に関わる電話連絡の際に指導PTにお尋ねしたところ、特に準備の必要はないとのこと。やさしくフランクな対応をしていただき、焦りも緊張も含めてとにかく伺ってみようと思えました。昨年来、学会や研修会で症例発表を聞いていてもわからなかった用語や制度、評価スケールなど、教えていただきたいことはまとめておきました。②我が家の朝：研修中は、わたくしの方が先に家を出ることになり、こども達を送り出すことができないとわかりました。夫はさらに早い出勤なので、弟の面倒も、朝ごはんの下膳も持ち物のチェックも戸締りも、すべて、反抗期にさしかかった長男が頼りです。いつもはギリギリまで寝ている、忘れ物の多い長男には初めての大役です。…心もとない限りでしたが、それも復職に向けての準備のひとつになると思い切って任せることにしました。(この結末は、5勝4敗でした！テレビの消し忘れや食べかけのパンがかさかさのまま放置という軽微なものから、提出物の忘れ物や鍵のかけ忘れまで、さまざまな事件(!?)がありました。いずれも大事には至りませんでした。総じて、こども達にとってもわたし自身にも、本当に得難い経験となりました。)

#### ■研修内容

##### 1. 朝倉病院：指導PT 野北先生 福田先生

5/16	○リハビリの考え方・制度について (急性期・回復期・生活期、医療保険・介護保険・介護予防) ○車いす・義肢装具について ○評価について
5/17	○回復期病棟について ○施設基準、勤務体制について ○質問
5/18	○ケース ○カルテの流れ・レセプトについて ○医療保険について ○評価スケールについて
5/19	○入院時カンファレンス見学 ○施設見学 ○文献について ○ケース
5/20	○質問・フィードバック ○カンファレンス参加



# 活動報告



## 2. 老健コスモス：指導PT 清水先生 戸崎先生 沼田先生、 指導OT 山田先生

6/13	○リハビリの考え方について ○介護保険について ○老健について ○訪問リハビリについて (訪問リハビリの実際、訪問看護ステーションと 訪問リハビリステーション) ○装具の処方について
6/14	○ケース ○磯子区・港南区の訪問リハビリについて
6/15	○ケース ○訪問リハビリ同行
6/16	子どもの発熱によりお休みをいただく
6/17	○訪問リハビリ同行 ○総括 (施設基準について・ケアマネについて・ 県士会について)

### ■研修を終えて

どちらの施設でも、本当にご多忙の中でしたのに、丁寧にやさしくご指導いただきました。初めて聞く内容も多く、理解できるまでに時間がかかる場面もかなりありましたが、繰り返しの質問にも辛抱強くお付き合いいただきました。申し訳ないほど有難く、ぜいたくな研修でした。この研修によって得られたことはずいぶんたくさんあって、なかなかまとめられません。制度や技術などで変わってしまっていた点にたくさん気付かせていただき、理解できるまで教えていただきました。変わった点も本当に多く感じましたが、臨床の現場でPTが悩んだり苦労したり努力したりすることは、やはりいつでも同じなのだとも思いました。新しい文献もたくさんご紹介いただき、今後わたくしが努力すべき方向を教えてくださいました。PT士会のこれまでの経過や研修会などの情報もいただき、いま求められているPTの像も教えていただきました。勤務体系が多様になっていることや周辺の施設についての情報もいただき、就活の参考にさせていただけます。現役の時には制度や法の根拠も不明確なままで携わっていた介護予防や生きがい支援の仕事も振り返るきっかけをいただきました。わたくし自身と家庭内の課題も肌身で感じられました。多職種の方々と、短い時間でしたがお話しできる機会を得て、働く母としてのコツや心得も伺えました。利用者の方々とご家族にもお目にかかれて、自分の人生を顧みてみたり、自分が担当だったらとさまざまに想定したりもさせていただきました。そして何よりも、日々活躍されているPTOTSTのみなさんの姿を目の当たりにして、やっぱりPTとして働きたいと思いました！この研修を経験することなく復職していたら、と考えると、恐ろしいような気持ちです。わたくしにとっては、とても大切なしかも衝撃的な期間でした。さすがに12年のブランクは浦島太郎のように隔世の感があり、知識も技術も体力も簡単には埋めがたいものがありますが、これからも研鑽を積んで、きっとこの研修を生かし、復職に向かいたいと思います。このような貴重な機会を与えていただき、お世話になりました皆様心から感謝しています。本当にありがとうございました。

## 木下麻子さんからの報告

### ■参加動機

新卒で埼玉に就職をして、8年間病院と施設で勤めました。結婚を機に退職し、川崎市に引っ越してきました。その後、2人の子供を出産し、専業主婦として育児をしてきました。そして、仕事を離れ5年半が経ちました。その間、いつかは仕事復帰したいという気持ちは持ち続けていました。来年には、下の子供が幼稚園に入園するため、常勤職は難しくとも非常勤職員やパート等で仕事復帰できないかと考えるようになりました。その中、神奈川県理学療法士会のホームページにてライフサポート部の復職支援を知り連絡をしました。研修先は、これから生活期に携わっていきたくて考えていたこと、離職期間も長いので新しい分野での復職には不安があったことから、以前勤めた経験のある介護老人保健施設を希望しようと思いました。そして、自宅から近い介護老人保健施設「つくしの里」(以下「つくしの里」)に研修の希望をし、ライフサポート部の寺尾先生に調整していただきました。

### ■研修内容

研修をさせていただくことが決まり、その後の細かい研修については直接電話連絡にてつくしの里の木下尚久先生に連絡させていただきました。つくしの里は、理学療法士6名、作業療法士1名、言語聴覚士1名の先生方がいます。そのうち4名の方が、出産と育児の経験者です。今回の研修を主に担当してくださった平塚多先生も産休・育休後に復帰された先生です。内容は、下記のようなスケジュールで見学から始まり、移乗動作などの介助や訓練を体験させていただきました。その他にも、現在の介護保険制度のお話を伺うなど様々な経験をさせていただきました。

	9:00～12:00	13:00～16:45
8/11(木)	通所個別リハ	集団リハ、入所の個別リハ
8/12(金)	個別リハ	通所の個別リハ、集団リハ
8/13(土)	入所の個別リハ、通所個別リハ	

### ■研修を終えて

5年半という期間をリハビリの業務から離れていたこともあり、復職を考えるにあたって、患者様・利用者様を目の前に評価や訓練ができるであろうかと不安に思っていました。けれども、丁寧に指導して下さる先生方の元で訓練や介助方法が体験できたので、安心して行うことができました。知識や技術面の未熟さの再確認となりましたが、同時に久しぶりに患者様・利用者様に触れるという不安感は少なくなり復職を前向きに考えることができました。その他にも、実際に育児をしながら仕事をされている先生方の働いている職場だったので、復職する上での職場の環境も確認していく必要があると思いました。仕事と育児を両立している先生方のお話を伺えたことも家族の協力が必要であることを実感できました。復職に至るまでは、まだまだ多くの課題があります。しかし、今回の研修を受けて改めて理学療法士として働くことに充実感を感じることができました。その気持ちを大切に復職に向け一歩進んでいきたいと思えます。